MUTOH

組立・取扱説明書

INSTALLATION AND OPERATION MANUAL

MUTOH DRAWING TOOL

paraliner UG

パラライナー **UG-MA1**

このたびはパラライナーUG-MA1をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品を安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してお取り扱いください。

なお、本製品は十分調整しておりますが、アフターサービスを依頼されます場合は、事前に本取扱説明書を基に再度点検のうえ、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業所にご依頼ください。

パラライナー®
●パラライナーはMUTOHの登録商標です。

UG-A-11

MUTOH

株式会社 ムトー エンジニアリング

〒154-8560 東京都世田谷区池尻 3-1-3　TEL（03）6758-7120（代表）

営業所

首都圏営業所	〒154-8560	東京都世田谷区池尻3-1-3	TEL（03）6758-7130 FAX（03）6758-7139
中部営業所	〒464-0055	愛知県名古屋市千種区姫池通2-8	TEL（052）761-5681 FAX（052）752-1628
関西営業所	〒560-0083	大阪府豊中市新千里西町 1-1-8 （第一火災千里中央ビル 1F）	TEL（06）6871-9191 FAX（06）6871-9199

HOME PAGE http://www.mutoheng.com

●保守・サービスのご用命は上記までご連絡ください。

DP-41308　　DDD 109E7-1 P01TS

安全にお使いいただくために

取扱説明書内の **⚠警告** と **⚠注意**

取扱説明書に記載している表示の内容を危険度の高さに応じて次の２段階に分類しています。
以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

⚠警告

誤った取扱いをした際に『使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容です。

⚠注意

誤った取扱いをした際に『使用者が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される』内容です。

⚠注意

◆製図板には、磁気を使用したカードやディスク等を置かないでください。データが消失することがあります。
◆本機は絶対に分解または改造しないでください。
◆スケールを急激に動かしたり、ストッパーにぶつけたりするとスケールの平行が損なわれますので、ていねいに扱ってください。
◆鉛筆受けと図板のすき間に図面をたらす場合は、薄い紙をご使用ください。
◆図板の角度は０°～60°の範囲でご使用ください。

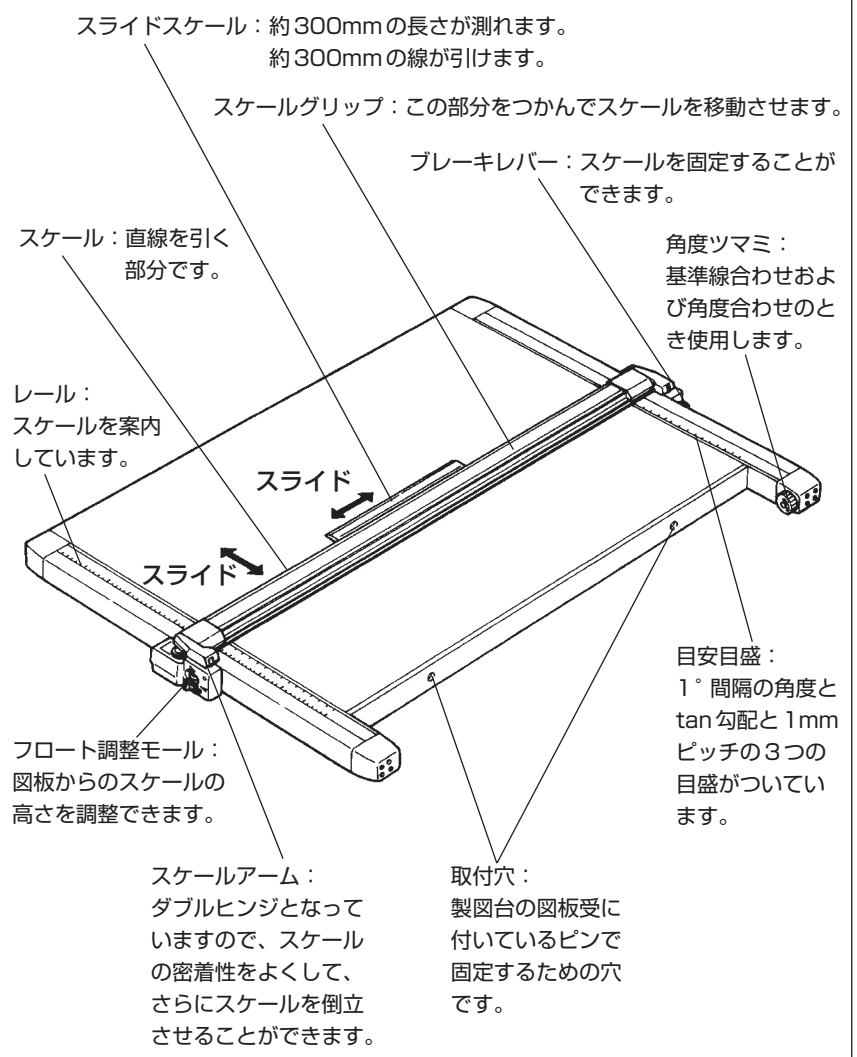
1 付属品

梱包内容と現品の照合をしてください。

■スライドスケール …… １本
■本体カバー …… １枚
■ドラフティング・プレート …… １箱（300mm×４枚、500mm×３枚、800mm×３枚、字消し板）
■木ネジ …… ４本
■保証書 …… １枚
■取扱説明書（本書）…… １枚

2 各部名称と機能（図１）

図１



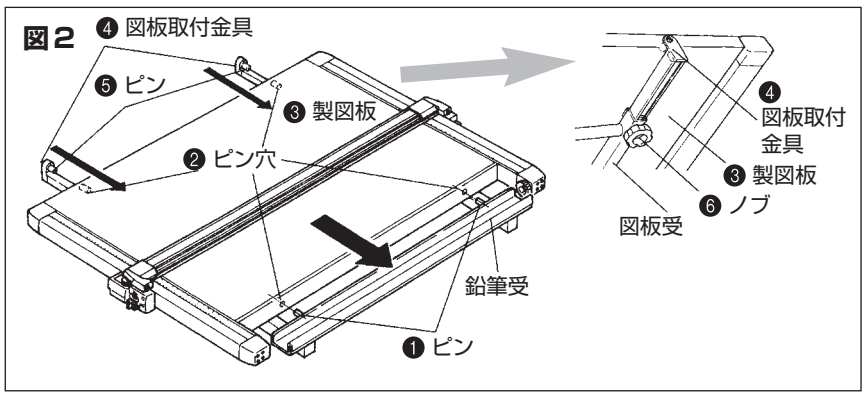
3 本体の組立方法

3-1（図2）

A.図板受にパラライナーをのせた状態で鉛筆受にある❶ピンと製図板側の❷ピン穴を合わせ、❸製図板を鉛筆受側に押しつけてください。

B. 次に❹図板取付金具の左右の❺ピンを製図板側の❷ピン穴に合わせて差し込み、裏側にある❻ノブで確実に締め付けてください。
これで組み立ては終了です。

図2



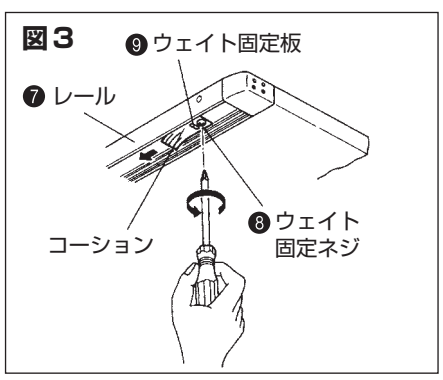
⚠注意

図板受のノブは確実に固定してください。
確実に締められていないと製図台にパラライナーが固定されませんので注意してください。

3-2（図3）

左右の❼レールの裏側にある❽ウェイト固定ネジをドライバで外し、❾ウェイト固定板を下方向（矢印方向）にずらして取り除いてください。

図3



⚠注意

パラライナーを輸送する際は、ウェイト固定板をウェイト固定ネジで止めてください。

4 操作方法

4-1 ブレーキレバーの操作（図4）

❿ブレーキレバーは下方向でロックし、上方向でフリーになります。スケールの動きを固定したい場合に使用してください。

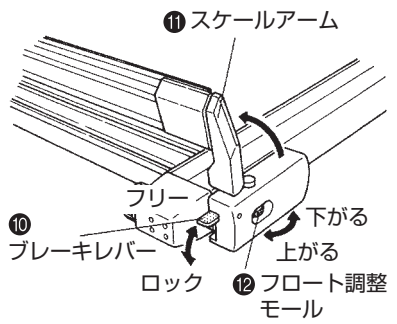
4-2 スケールアームの操作（図4）

図面を貼る場合や図板やスケールを掃除する場合に、⓫スケールアームを倒立させることができます。

4-3 フロート調整モールの操作（図4）

⓬フロート調整モールは、スケールのフロート量を調整する場合に使用します。左右の両カーソルに付いていますので、それぞれを必要に応じて調整してください。

図4



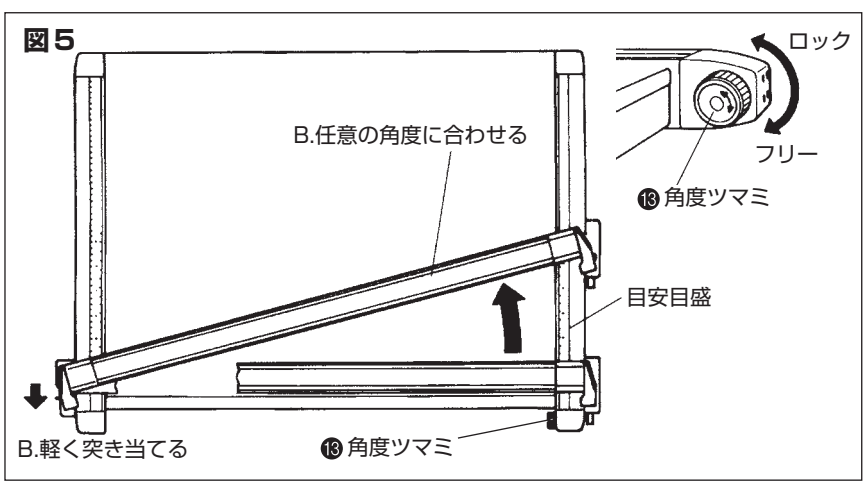
4-4 スケール角度の操作（図5）

A. ⓭角度ツマミを時計方向（フリー）へ約90°回すとスケール両端が自由に動きます。

B. スケールの一方の先端を下まですさげ、軽く突き当てます。そしてもう一方を目安目盛の角度に合わせます。

C. ⓭角度ツマミを反時計方向（ロック）へ回して元の位置まで戻し、スケールの角度を固定します。

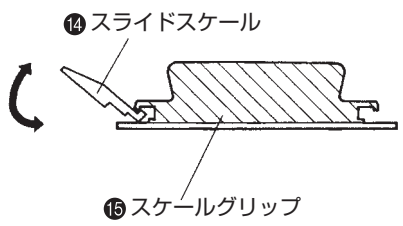
図5



4-5 スライドスケールの取付方法（図6）

⓮スライドスケールを図のように⓯スケールグリップにはめ込みます。はめ込んだ⓮スライドスケールを降ろすと⓮スライドスケールがセットされます。
取り外し方は⓮スライドスケールを上げて引くと取り外しができます。

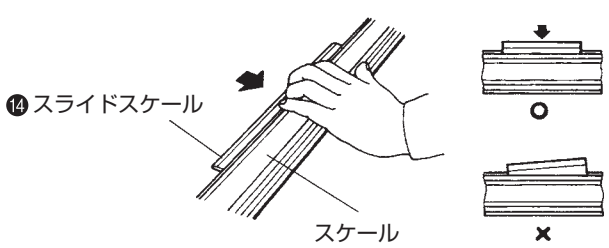
図6



4-6 スライドスケールで線を引く方法（図7）

⓰スライドスケールをスケールにしっかり押し当てて使用してください。

図7



参考

スライドスケールは指で押し当てて使用しないと、スケールに対して平行な直線が引けません。

5 製品のお手入れについて

パラライナーをご使用になる場合、次のような点に注意して手入れを行ってください。

❶パラライナーおよび製図板上には物を置かないようにしてください。
❷スケールや、レールの摺動部などは、やわらかい布等で拭いてください。また、スケールなどの樹脂部分は、シンナーなど、樹脂部を侵すものでの拭きとりはしないでください。
❸ホコリなどによる異音や故障をさけるため、ご使用後は付属品の本体カバーをかけてください。
❹パラライナーを移設する時は、3-2を参考にウェイト固定ネジでウェイト固定板を固定してから移設してください。
❺パラライナーは精密機械です。直射日光や高温・高湿でのご使用および長期間の保管は避けてください。

保証書とアフターサービスについて

❶梱包箱に保証書がついています。お確かめください。
❷保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
❸保証期間中に保証の範囲内で修理を依頼されるときは、保証書を添えて、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業所に依頼してください。無償で修理させていただきます。
❹保証期間が経過した場合、および保証の適用を除外された故障の場合でも迅速確実に修理いたします。ただしこの場合には実費のご負担をお願いします。詳細は保証書をご参照ください。